

## 5 地域ケア会議の種別と構成

### (1) 地域ケア会議の種別と考え方

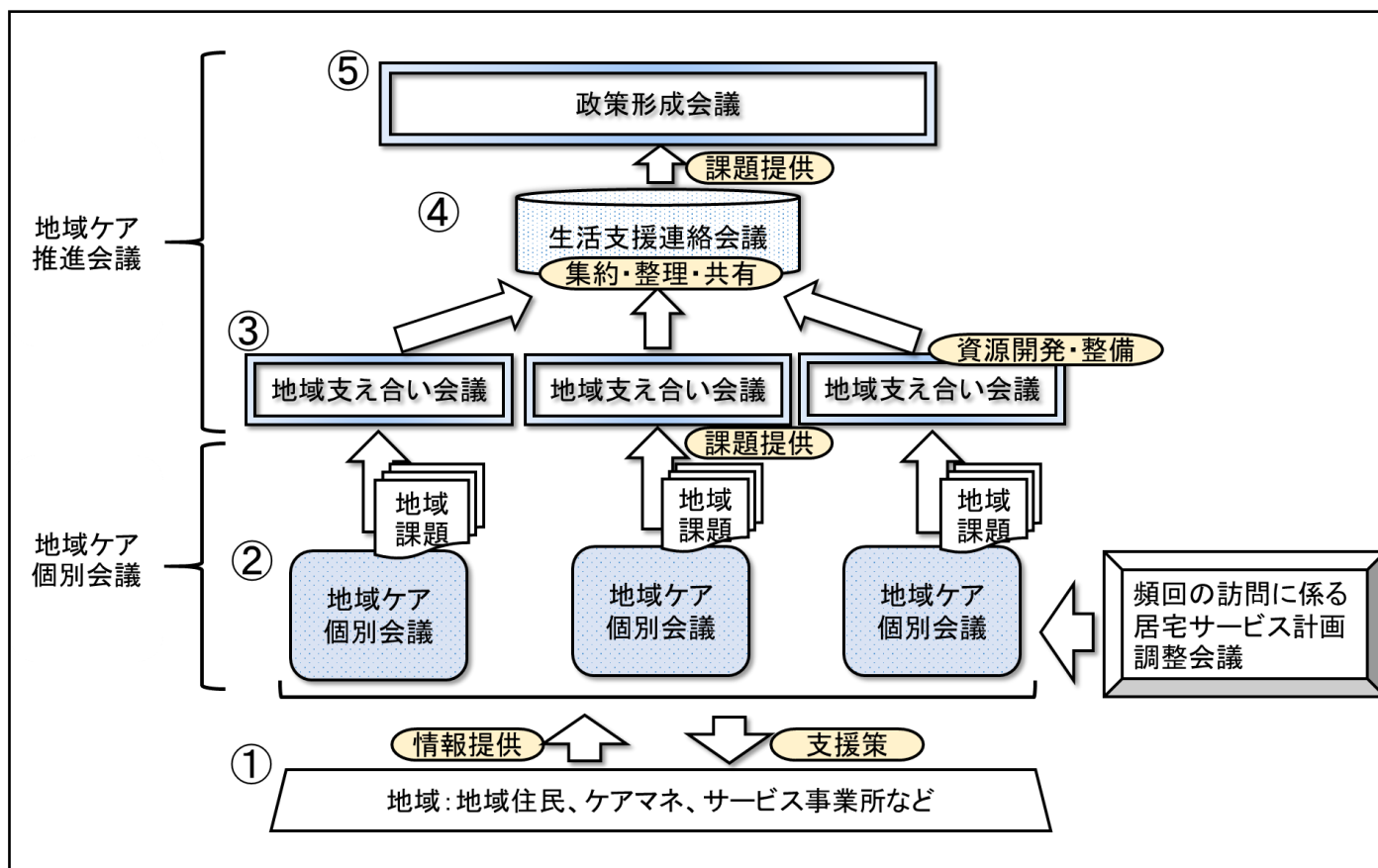
資料 1

	地域ケア個別会議	地域ケア推進会議		
		地域支え合い会議 (第2層協議体)	生活支援連絡会議	政策形成会議 (第1層協議体)
開催 主体	地域型センター	第2層コーディネーター	基幹型センター	第1層コーディネーター(市)
	地域型センター、基幹型センター、生活支援コーディネーターが協働して実施する			
主な 目的	高齢者が住み慣れた地域でできる限り暮らしていけるように地域住民と専門職で支援策を検討する	地域の課題について情報共有をするとともに連携や協働による地域の資源開発について検討する	地域支え合い会議で抽出された地域課題を整理、集約、共有をする	地域包括ケアシステムの構築・深化・推進のため、地域の課題や地域資源をもとに今後の政策への反映を検討する
機能	<u>(1)個別課題解決機能</u> <u>(2)ネットワーク構築機能</u> <u>(3)地域課題発見機能</u> (4)地域づくり・資源開発機能 (5)政策形成機能	<u>(1)個別課題解決機能</u> <u>(2)ネットワーク構築機能</u> <u>(3)地域課題発見機能</u> <u>(4)地域づくり・資源開発機能</u> (5)政策形成機能	<u>(1)個別課題解決機能</u> <u>(2)ネットワーク構築機能</u> <u>(3)地域課題発見機能</u> <u>(4)地域づくり・資源開発機能</u> (5)政策形成機能	<u>(1)個別課題解決機能</u> <u>(2)ネットワーク構築機能</u> <u>(3)地域課題発見機能</u> <u>(4)地域づくり・資源開発機能</u> (5)政策形成機能
出席者	・対象者を取り巻く支援者や関係者 ・今後関わりが考えられる方やアドバイザー (※内容に応じて参加者を選定する)	・自治会、民生委員、地区社協、地域力等の地域住民 ・福祉・医療従事者等 (※内容に応じて参加者を選定する)	・高齢者福祉課 ・生活支援コーディネーター ・地域型センター ・基幹型センター	・委嘱を受けた委員
内容	・ケース概要の共有 ・長期・短期目標の決定 ・支援計画の策定 ・役割分担 ・残された課題、地域課題の確認	・地域ケア個別会議の結果をもとに地域課題の把握 ・地域資源の充実のため検討	・地域課題の情報共有 ・地域課題の要因を分析 ・市全体として捉えられる課題の整理、抽出	・市全域での課題整理 ・市全域での地域資源整理 ・課題と資源の提言、マッチング
その他	・会議の運営について(P.5 参照) ※市からの依頼により「頻回の訪問に係る居宅サービス計画調整会議」の結果、情報共有及びサービス計画について検討	・第2層生活支援コーディネーターが配置されている3圏域でモデル的に実施する	・包括担当者会議後に開催する	・やすらぎプランを基に検討

※平成30年10月より、頻回の訪問に係る居宅サービス計画については利用者の自立支援・重度化防止や地域資源の有効活用などの観点から、必要に応じて地域ケア個別会議を開催する。地域ケア個別会議の開催の有無については「頻回の訪問に係る居宅

サービス計画調整会議」にて判断される。

## (2) 地域ケア会議の概念図



この概念図は各会議体の位置づけと地域課題の流れを示したものである。

まず、民生委員や自治会、地区社協といった地域住民やケアマネからの情報提供等（①）から必要に応じて地域ケア個別会議（②）を開催する。地域ケア個別会議では個別の課題を解決するとともに地域の課題抽出を行う。抽出された地域課題は地域支え合い会議（③）にて地域団体や地域の福祉・医療の専門職と共有をするとともに地域資源の開発に向けた検討を行う。

各地域支え合い会議で検討された地域課題は生活支援連絡会④において集約・整理され、政策形成会議（⑤）にて市全域での課題整理・地域資源整理並びに課題と資源のマッチングを行う。